

SMONAセミナー

ドラマチックコミュニケーション

協同組合 臨床開発支援ネットワーク (SMONA) は2月17日、全理連ビルでSMONAセミナー「ドラマチック・コミュニケーション研修を開催した。約50名が参加。講師は昨年同様、(株)MANY ABILITIES代表取締役の野原秀樹氏。

本質力を高める「ドラマチックコミュニケーション」は即興(インプロ)、演劇、対話手法を用いた体感型相互学習スタイルの研修。ゲーム感覚のロールプレイングを中心としたカリキュラムによって、より良いコミュニケーション



私—あなたワーク

ションにおける「意識」を高め、印象深く相手に伝える「表現力」、的確に判断する「対応力」、物事を多面的に捉える「想像力」を高める。非言語的なスキルを高め、感性を磨き、人となれあう楽しさを体感しながら個性を引き出す。CRC、渉外部門、管理部門など人とのふれあいが必要な職種、プレゼンスキルを上げたいと思っている職種が今回の研修の対象。

開催にあたり、黒野富男SMONA事務局長・教育研修委員長が挨拶。必要な能力について「CRCは実務能力と人間の魅力の2つを具備した職業人であるべき。実務能力は臨床試験に関する知識・技術。これは職業人としての土台で『わたし』のことと言える。一方、人間の魅力とは人間関係を円滑に運ぶ能力のこと。社会人としての土台、『他者』との関わり」と言い換えられる」と解説した。また、書籍「悲しみの効用」(五木寛之、祥伝社、2012年9月)、「やわらかな1・5人稱」(中野重行氏が提唱しているCRCの姿勢・態度)などを紹介した。

MANY ABILITIES社のホームページによると「ドラマチックコミュニケーション」研修は「ふれあい」「ロールプレイング」「デイスカッション」で成り立っており、楽しみながら気付きを得るといふもの (<http://many-abilities.com/>)。様々なロールプレイが行われた。主なものを紹介する。



トランプ並べ

- ③ 私—あなたワーク。大勢で円になり「私、あなた」と言って誰かを指名する。指名されたら「私、あなた」と同じく誰かを指名する。一つの円の中で「私、あなた」がいくつか飛び交い、最終的には「お願いします、ありがと」が追加される。
- ④ トランプ並べ。幾何学的に複雑に並んだトランプをお互いに見ることなく、言葉だけを頼りに並べ正確に再現する。上の写真で言う右側の人の説明をもとに左側の人が複雑な配置の再現を試みている。
- ⑤ YES—NO。対面に座った同士でYES、NOと言いつつ合う。いろいろな感情を含めたり、身振りも加えて行うので、様々なバリエーションのYESやNOが出てくる。
- ⑥ 即興(インプロ)。知ってる知ってるワーク。同じく対面。何でもいかに何か言う。それにまず「知ってる知ってる!」とオーバーに答えてから、さらに何か言う。相手は同様に「知ってる知ってる!」と言って、またさらに何か言う。知ってる! の後に返す内容はアドリフでもよく、やりとりを繰り返すというワーク。
- 野原氏の口頭による説明は概ね次の通り。
- ▼ 人間の特徴…人間とチンパンジーで異なるところは自発的な協力行動があるかないか。例えば人間ならば財布を

落とした人がいたら、拾って追いかけて教えることがある。

▼ フィンランドメソッド…フィンランドの子供の学力は世界一で、その教育方法が注目されている。想像力や論理的思考を伸ばすメソッド。

▼ コミュニケーションで大切なこと…他を思いやる心。共感や承認といった相手の価値観を理解することで、そこ

に意味を見いだす力。

▼ コミュニケーションの構造…気持ち「を」伝える「受け止める」という行為が双方向的に関係すること。それがI am OK, You are OKになる。

▼ 3つの聞き方…話しを「きく」と言うが、ほんやりと「聞く」、関心を持って意欲的に「訊く」、熱心に受け止め「聴く」とある。

週刊

ISSN 0289 - 3290

薬事新報

平成25年(毎週1回木曜日発行) 昭和33年8月4日 第三種郵便物認可・薬事新報社

3月14日 第2776号